

女性研究者のキャリアパスを考える 先輩研究者が後輩をエンカレッジする！

2023
11 | 16

16:00 ~ 17:55

- ライフサイエンスハブウエスト 来場者定員 50名
- オンライン (ZOOM Webinarで配信予定) 参加者定員 1000名

参加無料



参加登録はこちら

木

日本の女性研究者の割合は年々緩やかな増加傾向にありますが、諸外国と比較すると未だ少数に留まっています。そこでLINK-Jでは女性活躍支援イベント第一弾大阪大学編として「女性研究者のキャリアパスを考える～先輩研究者が後輩をエンカレッジする!～」と題し、女性研究者の先生方が一堂に会するイベントを開催します。

本イベントは大阪大学を中心とした先輩女性研究者の先生方にご登壇いただき、今までの研究の歴史や苦勞した点、楽しかった点などをお話いただき、後進の研究者の皆様をエンカレッジいたします!



女性研究者としての遺伝子の時代の70年

大塚 榮子 氏
北海道大学名誉教授、産総研名誉フェロー



女性の研究者が変化をもたらす、それがなぜ重要なのか

山本 ベバリー・アン 氏
大阪大学 副学長・理事



外資系企業からアカデミアまで:異分野融合研究の面白さ

岡田 眞里子 氏
大阪大学蛋白質研究所 教授



量子化学で生命現象を観る!～毎日わくわくがとまらない

福澤 薫 氏
大阪大学大学院薬学研究科 教授

モデレーター



水沼 未雅 氏
Craif 株式会社 最高執行責任者
※ LINK-J サポーター



坂田 恒昭 氏
大阪大学共創機構 特任教授

プログラム

時間	内容
16:00 ~ 16:05	オープニング
16:05 ~ 16:25	講演1 (大塚先生)
16:25 ~ 16:40	講演2 (山本先生)
16:40 ~ 16:55	講演3 (岡田先生)
16:55 ~ 17:10	講演4 (福澤先生)
17:10 ~ 17:30	パネルディスカッション
17:30 ~ 18:30	クロージング

会場へのアクセス

ライフサイエンスハブウエスト

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 4-1-3
御堂筋三井ビルディング 4 階



オンライン

本イベントには Zoom ウェビナーを使用します。
事前に peatix にて参加登録をお済ませください。
参加申込後の視聴ページに視聴用リンク・パスワードを掲載しておりますので、ご確認ください。視聴時間になりましたら「チケット表示」→「イベントに参加」ボタンよりお入りください。ウェビナーの操作方法等はこちらでご自身で事前にご確認をお願いいたします。

参加申し込み

下記サイトより事前登録をお願いいたします

<https://www.link-j.org/event/post-6884.html>



お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:30)

E-mail:contact@linkj.org web:www.linkj.org

プロフィール

大塚 榮子

北海道大学名誉教授、産総研名誉フェロー

北海道札幌市出身。1963年北大大学院薬学研究科博士課程修了後、ウイスコンシン大学博士研究員として酵素研究所コロナ研究室に留学遺伝暗号決定、遺伝子合成の研究に参加した。1966年北海道大学薬学部助教授、1976年大阪大学薬学部助教授、1984年から1999年北海道大学薬学部教授。1986から4年間大阪大学細胞工学研究所客員教授。RNAの化学合成、がん遺伝子の構造と機能の研究を行う。1994年に「核酸の合成と機能に関する研究」で日本薬学会学術賞、1996年に「核酸の合成と機能に関する研究—合成 ras 遺伝子関連の研究を中心として」で日本学士院賞を受賞。1999年北大名誉教授。2000～2004年産業技術総合研究所にフェローとして勤務、2004～2008年北大監事として勤務。2006年産業技術総合研究所の第一号名誉フェローとなる。2020年から日本学士院会員。

山本 ベバリー・アン

大阪大学 副学長・理事

イギリスのロンドンに生まれ、ロンドン大学(当時 Bedford College) から社会科学・社会政策の学士を取得した。2000年英国・国立シェフィールド大学大学院社会科学研究科から東アジア研究分野の博士号(Ph.D.)を取得。1987年に初めて来日した。2006年に大阪大学大学院人間科学研究科講師で着任し、その後准教授、教授のほか、大阪大学ユネスコチェア Global Health and Education チェアホルダーなどを歴任し、2023年4月から大阪大学の理事。副学長に就任し国際(教育)の担当。専門分野は教育と医療社会学、特に教育の国際化、性教育、学校におけるヘルス・プロモーション、医療と患者・市民参画をテーマとする。現在代表としてオックスフォード大学と共に「ヘルスケアにおけるAIの利益をすべての人々にもたらすための市民と専門家との関与による持続可能なプラットフォームの設計」として、日本の科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)および英国の経済社会学研究会議(ESRC)によってのプロジェクトをリードをしている。

岡田 眞里子

大阪大学蛋白質研究所 教授

東京農工大学卒業後、ノボ・ノルディスク バイオインダストリー株式会社、カリフォルニア大学デビス校、理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター(GSC)、統合生命医科学研究センター(IMS) チームリーダー、京都大学化学研究所客員教授を経て、2016年より大阪大学教授。2022年より大阪大学蛋白質研究所長を務める。この間、日本生物物理学会理事や日本学術会議連携会員・会員などを歴任し、文部科学大臣表彰科学技術賞などを受賞。システム生物学および生化学を専門とし、疾病機序理解のための遺伝子ネットワークの数理モデル基盤構築を行っている。分子や細胞を対象に、実験、数理モデル、オミクスの情報解析を用い、がんや免疫、老化を対象に、制御メカニズムの解明に取り組む。また、2022年からは、大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(PRIME)の副拠点長として、疾患デジタルツインの開発に貢献している。

福澤 薫

大阪大学大学院薬学研究科 教授

1995年立教大学理学部化学科卒業。立教大学大学院在学中に米国ジョージア州立大学および米国エモリー大学に留学。2000年立教大学大学院博士後期課程単位取得退学、2001年東京大学博士(工学)。

2000年みずほ情報総研株式会社入社、2014年日本大学松戸歯学部助教、2016年星薬科大学准教授を経て2022年より大阪大学薬学研究科教授。2020年より東北大学工学研究科特任教授を兼任。

専門分野は、量子化学、計算生命科学、創薬計算科学。コンピュータを使って薬をつくる研究をしている。